

2008年1月17日

各位

アステラス製薬株式会社
オリックス自動車株式会社

アステラス製薬、MR(営業用)車両 2,000 台をハイブリッドカーへ ～オリックス自動車と共同で『環境課題に即応した車両管理体制構築』へ～

アステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、社長:野木森 雅郁、以下「アステラス製薬」)は、2008年4月よりMR営業用のリース車両 2,000 台をハイブリッドカーへ切り替えるとともに、オリックス自動車株式会社(本社:東京都港区、社長:三谷 英司、以下「オリックス自動車」)と共同で、環境課題への対応を強化した車両管理体制の構築を目指します。

アステラス製薬では、CSR経営の重要な活動として環境負荷低減に積極的に取り組んできました。アステラス製薬発足当初に作成した環境行動計画では、営業分野の活動として低公害車の導入を掲げ、これまで低公害車の導入を積極的に進めてまいりましたが、2007年度には、低公害車の導入率が当初の目標(導入率90パーセント)を達成する見込みとなりました。

今回、営業分野での環境対応をさらに一段進めるため、MR営業用のリース車両 2,000 台をハイブリッドカーに切り替えることを決定し、オリックス自動車とリース契約を締結いたしました。アステラス製薬は本契約締結に伴い、オリックス自動車と共同で、環境課題への対応を強化した車両管理体制の構築を目指しており、地球温暖化対策をはじめとする環境負荷低減に、より一層貢献できるものと期待しています。アステラス製薬では、今後も引き続き高い自主基準を設定し、一層の活動レベル向上を目指して推進してまいります。

今回のリース契約締結により、オリックス自動車はアステラス製薬に対して、自動車の環境課題に関する『環境支援サービス』をはじめとし、車両管理全般に関する様々なアウトソーシングサービスを提供していきます。『環境支援サービス』では、自治体や官公庁に提出する燃費情報などの各種環境データの提供や環境管理実績報告書の作成をサポートします。

また、アステラス製薬のビジネスプロセスアウトソーシングの実現を目指し、アステラス製薬各拠点の自動車関連業務に直接対応する窓口として、オリックス自動車社内に専任者を配置した『アステラスデスク』を開設、アステラス製薬社内での高品質な車両管理体制の構築と社内浸透の早期実現をサポートいたします。

オリックス自動車では、これまで業界に先がけて業務の効率化や運行管理面での業務サポートはもとより、コスト削減やコンプライアンス強化など様々な車両管理課題の解決に取り組んでまいりました。特に企業の環境課題に対しましては、運転者や運行状況の把握によるエコドライブ指導や車両台数の最適化提案など様々な環境支援サービスのご提案を推進しております。今後も、企業の多様化する車両管理ニーズに対し、様々な先進サービスをご提案していきたいと考えております。

【本件に関するお問合せ先】

アステラス製薬株式会社 広報部 Tel：03-3244-3201

オリックス自動車株式会社 社長室 Tel：03-6436-6030

■当プレスリリースは、自動車産業記者会、重工業研究会、本町記者会などに同時に配布しています。